



# 川崎大師ロータリークラブ 週報

例会日: 毎週水曜日 PM12:30~  
 例会場: 大本山川崎大師平間寺信徒会館  
 事務局: 〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F  
 Tel: 044-277-7569 Fax: 044-288-8550  
 URL: <http://www.kawasakidaishi-rc.com/> E-mail: [daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp](mailto:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp)

会長 横山 俊夫  
 副会長 岩井 清久  
 幹事 小矢 野宏  
 SAA 清水 明

第1916回 (本年度 第4回) 例会 平成24年7月25日 一晴れ 猛暑一

- 司会 清水 宏明 SAA
- 点鐘 横山 俊夫 会長
- 斉唱 「奉仕の理想」 須山 文夫 会員

●卓話者のご紹介 横山 俊夫 会長

川崎市環境局放射線安全推進室 室長 横田 覚様 (よこたさとる)  
 川崎市環境局放射線安全推進室 課長 永山 実幸様 (ながやまみつゆき)



来訪ロータリアンのご紹介 竹中 裕彦 会員

川崎ロータリークラブ 小口 和久 様

●会長報告 横山 俊夫 会長  
 ・7/21(土) 第2590地区全ローターアクトクラブ合同例会 神奈川近代文化館で開催されました。川崎大師ローターアクトクラブも参加し、今年1年間の活動計画等各クラブの方が述べられました。大変心強いRAGのメンバーだと思います。当日ご参加の皆さん大変お疲れ様でした。有難うございました。

【回覧】

- ①第30回8クラブ親睦ゴルフ大会の案内  
10/8(月) 体育の日  
ザ・カントリークラブ・ジャパン(千葉県)
- ②2010~2011年度に実施しました7750地区アメリカサウスキャロライナー州と当地区とGSEチームの受け入れ派遣の記録をまとめたGSE委員会報告が届いています。
- ③公益財団法人日本盲導犬協会より国際RC2590地区の各会長あてに「第20回富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会案内」がとどいています。

幹事報告 矢野 清久 幹事

- ①事務局の環境整備 増田年度の予算で実施パソコン2台、トイレにウォシュレット取付パソコン内の環境が一部まだ整っておらずメールの送付等(週報)ご迷惑をおかけしております。早急に環境を整えて送れるようにしたいと思います。増田会長、有難うございました。
- ②期首資料 正誤表配布
- ③増田年度決算理事会7/24(於: 浜寿司) 無事終了。8/29第2回クラブ協議会にて報告
- ④7/18移動例会ご出席の皆様、大変ご苦勞様でした。
- ⑤事務局夏休み 8/13(月)~8/17(金) 前後の土、日も休みです。
- ⑥校正段階の会員名簿回覧...  
ご自分の所をチェックお願いします。
- ⑦7/27(金)川崎大師平間寺塩原法要にご出席の皆様、宜しく申し上げます。

出席報告 石渡 勝朗 出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
1916回	56	49	35	14	71.42%
1914回	56	48	30	18	62.50%
前々回の修正	メイクアップ 3名		修正出席率		68.74%

メイクアップ:

野沢 会員、竹中 会員、竹田 会員

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
1915回	56	46	27	19	58.69%
1913回	57	50	36	14	72.00%
前々回の修正	メイクアップ 2名		修正出席率		76.00%

メイクアップ:

野沢 会員、林 会員



## スマイルレポート (ニコニコボックス)

岩井 茂次副会長

## 川崎大師RC

## 鈴木 昇二会員

横田室長、永山課長、今日はお忙しい中ご来場頂き有難う御座います。また、永山課長卓話楽しみにしていません。どうぞ宜しくお願い致します。

## 武者 恵吾会員

昨日は、増田年度最終決算理事会に参加の理事、役員の皆様、1年間本当にお世話になりました。また、御苦労様でした。本日は都合により早退させて頂きます。

## 竹中 裕彦会員

- 1) 夏本番！これから2ヶ月ご自愛下さい。
- 2) 草野球同好会の皆さん、部会ご参加お疲れ様でした。千葉マリン・米子・厚木市民大会頑張りましょう。

## 横山 俊夫会長

暑気払い移動例会、出席の皆さん楽しかったですね。飯塚委員長ご苦労様でした。

## 小林 勇次副会長

先週の屋形船楽しかったですね！！  
永山さん卓話よろしく御願致します。

## 矢野 清久幹事

- ①大変暑くなりました熱中症に注意して下さい。
- ②永山さん、本日の卓話宜しくお願い致します。

## 岩井 茂次副会長

暑くなったり涼しくなったりで体調管理のむずかしい季節です。熱中症・夏バテに注意しましょう！！

## 本日のニコニコのテーマ

永山実幸様、本日は卓話宜しくお願いいたします。

横山 俊夫会長	坂東 保則会員	水口 衛会員
石渡 勝朗会員	小泉 敏和会員	鈴木 幹久会員
飯塚 元明会員	沼田 直輝会員	秦 琢二会員
伊藤 佳子会員	牛山 裕子会員	谷澤 幹男会員
増田 昌美会員		合計 30,000円



## 委員会報告

## クラブ奉仕委員会 小林 勇次副会長

本日例会終了後、クラブ管理運営委員会を行いますので出席の程お願い致します。



## ロータリーアクト委員会 牛山 裕子委員長

ロータリーアクトクラブの例会について  
川崎大師ロータリーアクトクラブは7月本日7時半から川崎市産業振興会館で定例会をいたします。

8月の予定は8日(水)午後7時半から川崎市産業振興会館(場所変更 11階5会議室)。当日は、インセンションスピーチがございます。

移動例会8/22日(水) 18:30~20:30

アトレ川崎6Fアロハテンプルハワイアンビアガーデン  
野外ですので大雨の時は変更。

皆様をお願い

入会をして欲しい。このところたぶん暫時増強ができるのだろうと期待をしておりますが、やはりロータリーについてのプラグラムなりご指導をしていかないと、ただのお楽しみ会に終わってしまう恐れがありますので、ロータリアンに出席して頂いて、ロータリーについて卓話ができる機会をもてればと思います。



## 卓話者のご紹介

プログラム委員会 鈴木 昇二委員長

本年度第1回卓話です。

川崎市環境局放射線安全推進室 室長 横田覚様、課長 永山実幸様です。永山課長に川崎市における放射線安全対策について卓話を頂きます。放射線は決して福島だけではなく川崎市もなんだかのさまざまな影響を与えているようなので、この辺のところも含めてお話しいただけたらと思います。宜しくお願いします。

## 卓話

川崎市環境局放射線安全推進室 課長 永山 実幸様

## 【放射線安全対策の推進】

皆様こんにちは、川崎市環境局放射線安全推進室の永山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、貴重なお時間を頂きありがとうございます。限られた時間ではございますが、本市の放射線安全対策の取組みなどについてお話しをさせて頂きたいと存じます。

さて、昨年3月11日に発生しました東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により飛散した放射性物質は、福島県はもとより、東北、関東など広大な範囲に影響を及ぼしました。放射性物質の環境等への影響につきましては、環境法令に基づく、大気汚染や水質汚濁の防止、土壌汚染への対策といった規制の対象からは外れており、原子力基本法など個別法により国が責任をもって対応することとされておりました。こうしたことから、今回の原発事故による放射性物質の拡散に伴う対策につきましては、公害対策のような市独自の対応は想定されていなかったのが現実であります。

しかしながら、本市では、今回の事故を受け、市民の皆様への安全・安心の観点から、3月15日には公害研究所におきまして、大気中の空間放射線量の測定を開始するとともに、水道水や、食品等の放射性物質濃度の測定を定期的に行い、随時公表するなどの取組みを行ってきたところでございます。

別冊に本市のホームページ上で随時公表しております資料の一部を用意させて頂いておりますので、後ほど御参照ください。ここで少し、放射性物質の基礎についてお話しさせて頂きたいと思っております。別冊で御用意させて頂きました「放射性物質の基礎知識」を御覧ください。

この資料は、本年2月に農林水産省で作成したものでございます。

4ページを御覧ください。放射線と放射能でございます。上から三つ目の■印に記載のございますように、放射線を出す物質を「放射性物質」、放射性物質が放射線を出す能力を「放射能」と呼び、図の電球で例えますと、「放射性物質」が電球で、「放射線」が光になります。「放射能」は電球のワット数に例えると分かりやすいと思っております。

次に、放射線の種類と特徴についてでございますが、放射性物質の種類によって、ベータ線やガンマ線など放射線の種類が異なります。ちなみにレントゲンの場合はエックス線です。

福島第一原発の事故で広がった放射性物質は、主にヨウ素131と、セシウム134、セシウム137でありまして、いずれも、ベータ線とガンマ線を放出いたしますが、ヨウ素131については、半減期が8日と短く、すでに放射線を出す能力が無く、消滅しております。

次に、6ページを御覧ください。放射能や放射線を表



す単位でございます。皆様も「ベクレル」や「シーベルト」という単位をお耳にしたことがあると思いますが、「ベクレル」とは物質中の放射性物質がもつ放射線の強さを表します。一般的には、水や、食品などに放射性物質がどのくらい含まれているかなどについて使われています。

また、「シーベルト」は、人が受けた放射線の健康への影響を表す単位でありまして、先ほど御説明させて頂きました、ベータ線やガンマ線の線量を測定するときなどに使用します。したがって、レントゲンなどの照射の場合は「シーベルト」を使用するようになります。

8ページを御覧ください。外部被ばくと内部被ばくについてでございます。人が放射線を体に受けることを被ばくと申します。人体への影響から見て、もっと分かりやすく申しますと、放射性物質が呼吸や食事によって体内に取り込まれ、その取り込んだ放射性物質が出す放射線を体内で浴びることを内部被ばくといい、その影響の評価は、一般に「ベクレル」という単位で示された数値を見ていただければと思っております。

一方、人体の外から放射線の影響を受けることを「外部被ばく」といい、その影響の評価は「シーベルト」という単位で示された数値を見ればよいと思っております。ちなみにレントゲンの場合は、外部被ばくとなります。

14ページを御覧ください。この自然界におきましては、太古から天然の放射性物質が存在しておりまして、もっとも多い物質としましては、食品中に含まれる「カリウム40」などがあります。また、空気中にはラドン、それに宇宙や大地からの自然放射線があり、これらを合計した年間被ばく量は、日本におきましては1、5ミリシーベルト程度と言われております。ちなみに世界の平均は年間2.4ミリシーベルトと言われております。

国におきましては、今般の原発事故を受け、先ほどの自然放射線などによる年間被ばく量とは別に、国際的な目安としての一般公衆の放射線量限度、年間1ミリシーベルトを基本としており、本市もこの目安を基本として様々な取組みを行っているところでございます。

それでは、本市の放射線安全対策についての取組みなどについて御説明させて頂きまして、恐れ入りますが、「放射線安全対策の推進について」と題しました資料を御覧ください。

はじめに、基本的な考え方でございます。本市におきましては、現状におきまして、原発事故に伴う放射性物

質の影響は落ち着いているところですが、市民の皆様への安全・安心の観点から今後も的確な対応を図ってまいりたいと考えております。

次に、現状及びこれまでの取組みについてでございますが、常時監視を続けております大気中の放射線量につきましては、本年6月現在、事故前の状況に近づいております。国が定めた一般公衆の線量限度である年間1ミリシーベルトを大幅に下回っております。

なお、別添参考資料として、昨年からの推移をグラフにまとめておりますので、御参照願います。

このほか、市内に流通する農産物等も国の定める基準を大幅に下回り、水道水からは放射性物質は検出されておられません。

また、先ほども少し触れさせていただきましたが、放射線量などの測定結果につきましては、本市のホームページなどで随時、情報発信を行っているところでございます。

次に、本市では、市民の皆様への身近な場所における放射線への不安を払しょくするため、本年3月から、各区役所におきまして放射線測定器の貸出を実施しております。6月現在の貸出状況としましては、延べ600件を数えております。

次に、昨年からこれまでに、市の公共施設などにおいて発見されました局所的に高い放射線量を示す箇所への除染等の対応につきましては、40箇所を数えております。

また、日々発生いたします、ごみの焼却灰などからは、濃度は確実に下がってきてはいるものの、依然として放射性物質が検出されておりますことと、現在、安全・安心な処分に向けた検討を進めているところでございます。

次に、課題と今後の方向性でございますが、これまで御説明させていただきました経過などを踏まえまると、本市の市域におきましては、基本的に日常生活に影響のある状況にはないものと考えられますが、局所的には、やや高い放射線量を示す箇所が発見されておりますこともあり、環境等のモニタリングを継続的に実施するなど、長期的な視点から安全対策を推進してまいりたいと考えております。

なお、原子力規制委員会設置法の制定により、環境基本法が改正されたことに伴い、放射性物質への対策につきましては、今後、大きな転機を迎えることとなりますが、関係法令の整備を始め、実際の運用には、しばらく時間を要しますことから、本市におきましては、市民の皆様への安全・安心を確保する観点から、今年度、環境局内に新たに放射線安全推進室を設置して、全庁的な取組みのもと、放射線安全対策を推進しているところでございます。

#### 質疑応答

Q: 干潟で子ども達が遊んでいるところを見かけますが大丈夫でしょうか？

A: 殿町で国土交通省京浜河川事務所の所管をしている河川敷で（新聞報道でご覧になっている方もいらっしゃると思います）2万ベクレルを超える放射性物質が出ている。場所的にはあそこだけです。近くに大きな駐車場があり、駐車場から雨水が出るところの配水管の近くから出ている。ああいう場所はほかにありません。この間美化運動があった時、区役所を中心にはかりました。高いところは出ておりませんでした。今回の殿町の河川敷については議会で嶋崎先生からご質問があり、国に対して直接要請書を出して早く対応するように準備を進めてお

ります。8月上旬をめどに対応してまいりたいと考えております。

Q: 浮島の入口付近に東芝の放射能の施設がありますね。以前見に行ったことがあります。それが今の原因ではないの？

A: 東芝の実験でありまして、県がモニタリングポストを設けて測っていたり、オフサイトセンターとって何かあった時、対応がすぐ取れる形になっています。

Q: 川崎市としてはガレキの処理をする能力はまだ余裕はあるわけですね？

A: 処理する能力的には物理的にはございます。

Q: 困ったときには皆さんで国で対策を立てて処理していくことも大事だと思います。環境のことは多少あるかと思いますが全体的に放射能汚染が課題となっているのでしたら川崎市でも積極的に協力してあげたら、より復興が早くなるのではないかと思います。よろしくご検討のほどお願いいたします。

#### 卓話御礼

横山 俊夫会長

永山課長、有難うございました。横田室長有難うございました。

限られたお時間で放射線云々のご説明頂くのは、大変難しい所があったと思いますが現状の川崎市が取り組んでいる放射線量についてのご説明を頂き、また国の変わっていく環境の法案とか変わっていくので、それに準じて川崎市も対応して頂けるということでございます。

先ほど幹事から干潟の放射線量の話も出ましたけれど、子ども達もそうですが盛んに蛭とかとっています。資料を見させて頂くと魚とかタコとか書いてありましたが、貝類が入っていないのと土壌の中で栽培される根菜類、ジャガイモ、さつまいも、キュウリやトマト、ピーマンなどは根が上に出て空気中となる。実際土壌にどれくらい入っているか、食品のことなので特に女性などは不安なところがあると思います。最近産地表示を気にしていますが、あまり怖がってばかりではおいしいものが食べられない。川崎市がしっかり水道も含めて検査をやっているということで少し安心をしたいと思います。

これからもお仕事頑張ってくださいし我々に何か新しい情報があれば伝えて頂きたいと思っております。有難うございました。



#### ●点 鐘 横山 俊夫会長

日時：平成24年8月8日(水)は通常例会です。

会員卓話 鈴木 幹久会員

「会員増強について」

秦 琢二／竹内 祥晴／小泉 知寛

